

社団法人 大阪府臨床検査技師会

平成 24 年度第 2 回定期総会（平成 25 年度予算総会）

議 事 録

日時 平成 25 年 3 月 28 日（木） 午後 7 時 00 分～同 8 時 00 分
場所 社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所

- 次第
1. 開会の辞
 2. 表彰
 - 1) 感謝状表彰
 - 2) 永年会員表彰
 3. 議長選出
 4. 議長挨拶
 5. 総会役員選任
 - 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
 - 2) 書記任命
 6. 会長挨拶
 7. 資格審査報告
 8. 議案審議
 - 1) 第 1 号議案 平成 25 年度各部事業計画案に関する件
 - 2) 第 2 号議案 平成 25 年度予算案に関する件
 - 3) 第 3 号議案 その他
 9. 議事録署名人選任
 10. 総会役員解任
 11. 閉会の辞

議事録（概要）

1. 開会の辞

定刻どおり、司会の吉本副会長より平成 25 年度予算総会開会の辞があった。

2. 表彰

1) 感謝状表彰

運天会長より、感謝状として夏秋知佳氏（自宅会員）、北川富規子氏（浅香山病院）、前田富士子氏（白鷺病院）、脊古和人氏（第 2 なぎさクリニック）に表彰が授与された。

4 名の代表として、脊古和人氏が謝辞を述べた。

2) 永年会員表彰

永年会員表彰対象者 75 名を代表して竹山佳織氏（大阪府済生会吹田病院）に、運天会長より永年会員表彰が授与された。

3. 議長選出

議長の選出については総会出席者の中から立候補がなかったため、執行部に一任され、司会の吉本副会長より、松倉嘉士氏（(株)大阪血清微生物研究所）、夏秋知佳氏（自宅会員）の 2 名の提案があり出席者の挙手をもって承認された。

4. 議長挨拶

松倉議長より、議長就任の挨拶。

5. 総会役員選出

- 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命

松倉議長より、資格審査委員兼議事運営委員として、理事から荒木常務理事、田畑常務理事2名と、出席者から北川富規子氏（浅香山病院）、本多あずさ氏（近畿大学医学部附属病院）、浅田薫氏（北野病院）の3名が選任され、両委員会の委員長に荒木常務理事が選任された。

2) 書記任命

松倉議長より、社団法人大阪府臨床検査技師会事務所職員の岩崎和子氏、出口由紀子氏が任命された。

6. 会長挨拶

理事会において平成25年度の事業計画と予算について議案書を作成しました。

本日の総会にてご審議をお願いします。事業計画は、1月大臨技ニュース「年頭所感」に掲載した次の目標を達成すべく設定をしました。

1. 臨床検査技師の学術技能の研鑽のための事業を行う
2. 会員への情報提供を密にする
3. 公益法人への移行

1月に申請手続きを終了。答申が出次第、登記等の準備をすすめる。

4. 日臨技と都道府県技師会が協力して臨床検査の職域拡大に尽力する

- 1) 近畿支部を介して近畿の技師会の要望を反映させる。
- 2) 業務認証に向けての政治的アプローチを強化する。

臨床検査技師会と臨床検査技師連盟を表裏一体の関係にして、臨床検査技師の目的達成の手段として臨床検査技師連盟を位置づける。

平成25年度の事業の基本計画は公益法人の事業に絞りこみ、予算を立てました。

7. 資格審査報告

荒木資格審査委員長より資格審査報告があり、本日の会員出席者数34名、委任状数2200名、計2234名で、平成25年3月28日現在の正会員数3,071名の過半数を超えており、本総会は成立するとの報告があった。当報告を受け、松倉議長より定款22条に基づき本総会の成立宣言がなされた。

ここで、議長を夏秋氏に交代した。

8. 議案審議

1) 第1号議案 平成25年度各部事業計画案に関する件

1. 総括

1. 府民を対象にした府民の健康増進に寄与する公開講座やイベント事業の開催
府民健康フォーラム、大臨技・大放技合同フォーラム、マタニティカーニバル、看護の日、市民健康展、その他の公益事業を行う。
2. チーム医療の精神に貢献できる事業の開催
栄養サポート、院内感染防止、糖尿病療養、その他多職種でチーム医療を行う公益事業を行う。
3. 臨床検査技師の知識・技術の向上を目指す専門的な研修会の開催
4. データ標準化事業の推進
一般社団法人日本臨床衛生検査技師会とタイアップして大阪府下の検査施設の標準化を行う。
5. 卒前教育と卒後教育の橋渡しの事業の開催
教育機関の先生と連携して大臨技教育フォーラム等の事業を行う。
ご審議、よろしくをお願いします。

2. 事務局計画案について

平成25年度は、公益社団法人としての組織体制の確立を目指します。

1. 各種規程の改訂

理事会において、組織運営規程や総会運営規程など現行の各種規程を公益社団法人に準拠したものに改訂するとともに必要とされる新たな規程を制定する。

2. 組織運営の充実

総務部においては、新たな規程制定後、それに準じた、総会、理事会および各種委員会を開催する平成 25 年度からの新たな委員会として、平成 27 年度日臨技近畿支部医学検査学会の担当が大臨技となるため、4 月から学会準備委員会の立ち上げが決定した。

会員等への各種表彰については、感謝状表彰、永年会員表彰等に関連する細則の見直しも含め充実したものとする。

会員の広報については、大臨技ニュース、大臨技ホームページの内容を逐次更新し、有益な情報をリアルタイムで正確に提供する。

各教育機関との連携については、臨床検査教育機関懇談会の開催や各教育機関の学生に対し大臨技活動の啓発を目的に大臨技ニュースの配布や、卒業式時に大臨技会長賞の授与を行う。

3. 事務体制の強化

事務体制については、会員管理の強化を図るため平成 23 年度から導入した大臨技会員管理システムの運用を始め、大臨技会員証の発行、大臨技のみの会員のための大臨技臨床検査技師賠償責任保険の管理を行う。平成 25 年度からの大臨技会員証については、会費納入方法の変更に伴い作成および発送に遅延が生じるため、発送されるまで平成 24 年度会員証が有効であることを大臨技ニュース、大臨技ホームページで広報し、研修会受付担当者への周知徹底を図った。

財務管理については、公益社団法人に準拠した適正な財務管理を行い、主務官庁の大阪府へ当該年度財務管理関連報告ならびに事業報告を行う。

4. 府民ならびに関連団体との交流の推進

府民ならびに関連団体との交流については、府民ならびに他職種の方々に対して積極的にホームページ等で公開講座の広報を行い、参加する府民の健康保持・増進への貢献や他職種の方への情報提供を行う。

府民公開講座については、渉外部が担当し、大阪府薬剤師会ならびに大阪府栄養士会と共催の「府民健康フォーラム」を 10 月に、大阪府放射線技師会と共催の「大臨技・大放技合同フォーラム」を 1 月に、大阪府看護協会に協力する「看護の日」は 5 月に開催を予定している。

また、これらの他団体とはホームページ上での相互リンク等で情報の共有化を図り、その他の団体とも大阪府地域医療推進協議会への参画により連携を図る。

5. 社会貢献活動の推進

社会貢献活動の推進については、医療関連団体である当会が率先して輸血用血液製剤確保に街頭で献血の呼びかけを行う「献血推進活動」は、適正在庫の確保が最も困難である時期 8 月と 2 月の 2 回予定している。

障がい者に対する理解と協力については、医療現場における視聴覚障害者とのコミュニケーションを目的として「手話講演会」を府民公開講座として 12 月に開催を予定している。

予防啓発事業の推進については、街頭キャンペーンや府民公開講座としての講演会による「がん予防検診事業」や府民公開講座としての講演会による「HIV 予防啓発事業」を予定している。

以上、ご審議の程、よろしくお願い致します。

3. 事業局計画案について

1. 学術部は、4 つの目標を立てて事業を進めていきたいと考えています。

I. 主事業である部門別研修会・講演会の開催は、例年 100 を超える事業を展開しています。今年度も各部門世話人の方々の積極的な活動により、公益事業を中心に例年通り、又それ以上にと考え公益事業である学術部講演会開催を 1 回、医療職として必要な話題をテーマとして臨床検査技師だけでなく多くの医療関係者や市民の方が参加できるものを企画します。

II. 他の事業部への協力は、具体的な事業の共催ではなく部門を超えた講師の交流により各事業に貢献できるようなものを企画します。

III. 他団体との学術交流活動への対応は、大臨技・大放技合同フォーラム、薬剤師会・栄養士会と合同開催である府民健康フォーラム、看護協会の看護の日にも積極的にに関わり、少しでも事業の発展に関与したいと思えます。

IV. 教育セミナーの開催も回を重ね第 8 回を迎え、毎年各学校の教務の先生方のご尽力で多くの学生の参加があり、各校 OB の方の体験談や教育講演、特別講演を織り交ぜて学生に対し多くの情報を発信し、技師会をアピールできる場として定着させたいと思えます。

学術部は 25 年度も会員と医療関係の方が興味を持って積極的に参加できるような事業展開をしていきたいと考えています。

2. 情報組織部は、新入会員研修会を8月3日、技師長会は2月15日、他職種合同研修会を9月21日に予定し、チーム医療に関しては、糖尿病療法指導部会は4月10日、6月5日、9月11日、11月13日に定期勉強会を予定し、講演会を7月と2月を予定しています。ICT部会は定期講演会を①院内感染データの集計方法について6月14日、②感染対策プレゼンテーション方法を12月13日に開催予定。NST部会は講演会6月、10月に開催予定。生殖医療技術部会は講演会を2月に開催予定。内視鏡検査部会は検査技師からみた内視鏡を他職種合同で5回開催を予定しております。
3. 地区事業部は、1) 地域の会員相互の交流強化、2) 各支部における自由集会及び地域オープンセミナーの開催、3) 府民参加型健康啓発事業に関する協力を予定しています。
事業としては、マタニティカーニバル2013を7月6日および7日に、大阪南港ATCで開催を予定しています。会員交流会は9月、施設連絡者会は3月、各地区（北・中央・南）それぞれ1回の自由集会と1回の地域医療フォーラムを開催する予定です。健康展は例年どおり、吹田市、摂津市で開催予定です。

以上、学術、情報組織、地区の事業案についてご審議の程、宜しくお願いいたします。

以上の第1号議案「平成25年度各部事業計画案に関する件」について、挙手多数をもって承認された。

2) 第2号議案 平成25年度予算案に関する件

「平成25年度予算案に関する件」については別紙「収支予算案」をもとに前年度比較増減を中心に説明があった。

収入の部では、会費収入について増減なしで1,920万円。事業収入は、日臨技生涯教育収入76万円減、学術部講演収入100万円増で24万円増の1,338万円。補助金収入は、日臨技助成金0円とその他補助金20万円減により156万円減で40万円。雑収入は、資料収入40万円増で243万円。収入合計3,541万円を計上した。

支出の部1では、人件費の交通費11万円減で705万円。会議費18万円減で57万円。事務経費25万円減で374万円。事務所費増減なしで299万円。支出の部1小計で1,435万円を計上した。

支出の部2では、学術研究費140万円増で1,132万円。広告費増減なしで299万円。情報組織費は増減なしで149万円。渉外費は、15万円減で136万円。地区事業費は増減なしで119万円。各種研修会費2万円減で43万円。各種委員会費16万円減で118万円。諸経費は近臨技分担金が0円、雑費が会費振込手数料50万円減により110万円。支出の部2小計で2,106万円を計上した。本年度は支出の部1,2を合計した当期支出は92万円減額の3,541万円を計上した。

以上の第2号議案「平成25年度予算案に関する件」について、挙手多数をもって承認された。

3) 第3号議案 その他

以上の第3号議案「その他に関する件」は意見なく上程なしと判断した。

9. 議事録署名人選任

夏秋議長より、議事録署名人として本日出席者の中から、川井和久氏（大阪府茨木保健所）、北川篤氏（多根総合病院）の2名が選任された。

10. 総会役員解任

夏秋議長より、平成24年度第2回定期総会の議案審議の終了が宣言され、総会役員は解任された。

11. 閉会の辞

竹浦副会長より会員一人ひとりが満足するような技師会の企画、新入会員を得るための施策を考えていきたいと述べ、平成24年度第2回定期総会閉会の辞とした。（午後8時00分閉会）

平成25年3月28日

議事録署名人

印

同

印